

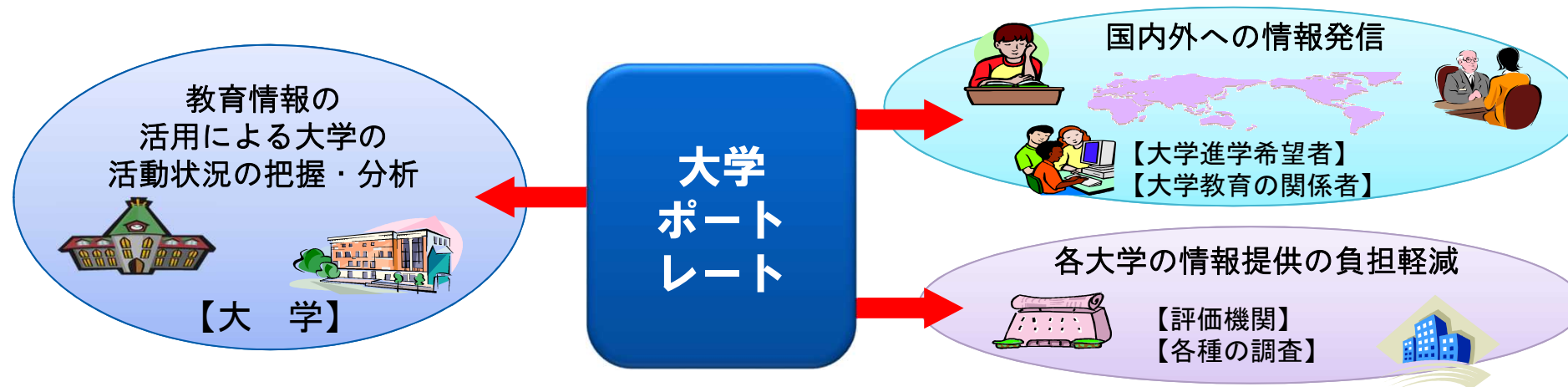
大学ポータルサイトに関係資料

大学ポートレートの概要

大学ポートレート：大学の教育情報を活用・公表するための共通的な仕組み

- 関係者にわかりやすく大学の**教育活動状況**を発信
→ 大学の説明責任体制の向上、進学希望者への進路選択支援、国際的信頼性の向上
- 大学の活動状況の把握・分析のための**教育情報活用**
→ 根拠情報に基づく質の向上に向けた取組の加速、評価における情報活用の促進
- 共通的な情報の公表を通じた大学による**各種調査への対応の負担軽減**
→ 大学運営の効率向上

平成27年3月より大学ポートレートによる国公立大学の大学情報（※）の発信を開始。



※ 大学ポートレートで発信している大学情報について(例)

【大学単位で公表する情報】

- ・大学の基本情報
- ・大学の教育研究上の目的等
- ・大学の特色等
- ・教育研究上の基本組織
- ・キャンパス
- ・学生支援(修学、留学生、就職・進路等)
- ・課外活動

※下線は学校教育法施行規則172条の2で公表が定められている項目

【学部・研究科等の単位で公表する情報】

- ・教育研究上の目的や3つのポリシー(アドミッション、カリキュラム、ディプロマ)
- ・学部等の特色
- ・教育課程(取得可能な学位、授業科目、授業方法、学生が習得すべき能力等)
- ・入試(入学者数、入試方法)
- ・教員(教員組織、教員数、教員の有する学位・業績)
- ・学生(収容定員、学生数)
- ・費用及び経済支援(授業料等、奨学金額、受給資格、授業料減免)
- ・進路(卒業者数・修了者数、進学者数・就職者数)

大学ポートレートの沿革

- 平成23年4月

学校教育法施行規則の改正により、各大学が公表すべき教育情報を明確化。

- 平成23年8月

「大学における教育情報の活用支援と公表の促進に関する協力者会議」において、データベースを用いた大学の教育情報の活用・公表のための共通的な仕組みの構築について提言。（「大学における教育情報の活用・公表に関する中間まとめ」）

- 平成24年2月～平成26年2月

「大学ポートレート（仮称）準備委員会」において、「公表」、「国際発信」、「教育改善のための情報の活用」、「管理運営」、「負担軽減」等について、審議・とりまとめ。

- 平成26年7月

大学ポートレート運営会議及び大学ポートレートセンターを設置。

- 平成27年3月

国公立大学・短期大学全体での教育情報の提供を開始。

大学ポートレートによる教育情報の公表の概要

大学ポートレートによる教育情報の公表とは、

- ◆ 日本にある1000以上の大学・短期大学の教育情報を大学ポートレートのウェブサイトを通じて公表
- ◆ 大学団体、認証評価機関等による自主・自律的な取組として実施

大学ポートレートの運営にあたっては、国公立共通の取組に係るプラットフォームの提供及び国公立大学の情報の取扱いについては、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構、私立大学の情報の取扱いについては、日本私立学校振興・共済事業団が担当。

- ◆ 学部等ごとに、学べること、進路、学費等の情報を掲載
- ◆ 個々の大学ならではの大学の個性・魅力がわかる情報を掲載

大学ポータルサイト公表のWEBサイト①

<http://portraits.niad.ac.jp/>

The image shows two overlapping screenshots of the University Portraits website. The left screenshot is the homepage, and the right screenshot is the search interface.

検索画面 (Search Screen)

The search interface includes the following elements:

- 大学・短期大学検索 (University/Short-term University Search)**
- 検索条件 (Search Criteria):**
 - 学校名 (School Name)
 - 学部・研究科名 (学部名) (Faculty/Department Name)
 - 学科・専攻名 (Discipline/Field of Study Name)
 - 課程区分 (Course Classification):
 - 全てを選択/解除 (Select/Unselect All)
 - 学士課程 (Bachelor's Course)
 - 修士課程 (Master's Course)
 - 博士課程 (Doctoral Course)
 - 専門職学位課程 (Professional Degree Course)
 - 短期大学士課程 (Short-term University Degree Course)
 - 設置形態 (Establishment Type):
 - 全てを選択/解除 (Select/Unselect All)
 - 国立 (National)
 - 公立 (Public)
 - 私立 (Private)
 - その他 (Others)
- キャンパスの所在地 (Campus Location):** A map of Japan with checkboxes for various regions:
 - 北海道 (Hokkaido)
 - 東北 (Tohoku)
 - 関東 (Kanto)
 - 中部 (Chubu)
 - 近畿 (Kansai)
 - 中国 (China)
 - 四国 (Shikoku)
 - 九州・沖縄 (Kyushu/Okinawa)
 - 三畿 (Sankei)
 - 道徳 (Dokudo)
 - 京都府 (Kyoto Prefecture)
 - 大分 (Oita)
 - 兵庫 (Hyogo)
 - 奈良 (Nara)
 - 和歌山 (Wakayama)
 - 鳥取 (Tottori)
 - 島根 (Shimane)
 - 広島 (Hiroshima)
 - 山口 (Yamaguchi)
 - 香取 (Ibaraki)
 - 岩手 (Iwate)
 - 宮城 (Miyagi)
 - 秋田 (Akita)
 - 山形 (Yamagata)
 - 福島 (Fukushima)
 - 茨城 (Ibaraki)
 - 栃木 (Tochigi)
 - 群馬 (Gunma)
 - 埼玉 (Saitama)
 - 千葉 (Chiba)
 - 東京 (Tokyo)
 - 神奈川 (Kanagawa)
 - 徳島 (Tokushima)
 - 香川 (Kagawa)
 - 愛媛 (Ehime)
 - 高知 (Kochi)
 - 新潟 (Niigata)
 - 富山 (Toyama)
 - 石川 (Ishikawa)
 - 福井 (Fukui)
 - 山梨 (Yamanashi)
 - 長野 (Nagano)
 - 岐阜 (Gifu)
 - 愛知 (Aichi)
 - 岐阜 (Gifu)
 - 神奈川 (Kanagawa)
- 検索ボタン (Search Button):** 選択条件で検索 (Search with selected conditions)
- 登録したお気に入り (Registered Favorites):** 登録したお気に入り (Registered Favorites)

大学ポータルサイト公表のWEBサイト②

大学情報の表示画面(国公立)

The screenshot displays the Hokkaido University website. On the left is a navigation menu with various faculties. The main content area is titled '北海道大学' and includes a '基本情報' (Basic Information) section. This section lists the university's name, location, founding year (1949), and contact information. It also provides enrollment statistics for the faculty and graduate school, and the number of faculty members. A '学生支援' (Student Support) section is highlighted, detailing services like 'ラーニングサポート室' (Learning Support Room), 'ピアサポート室' (Peer Support Room), and '心身の健康に係る支援' (Support for mental and physical health). The page also features a 'お気に入り登録' (Bookmark) button and a '資料請求' (Request for materials) button.

北海道大学 [お気に入り登録](#)

基本情報

■ 大学の基本情報

大学名
北海道大学

本部所在地
北海道札幌市北区北8条西5丁目

設立年（設置認可年）
1949

大学の連絡先（代表番号、メールアドレスなど）
011-716-2111

大学の種類
国立・大学

総学生数（学部）	11,436人
総学生数（大学院）	6,086人
総教員数（本務者）	2,412人

(2017年5月1日現在)

北海道大学
HOKKAIDO UNIVERSITY

[大学HPへ](#)

[大学沿革ページへ](#)

[資料請求](#)

■ 学生支援

修学支援

【ラーニングサポート室】
ラーニングサポート室において、学生の主体的な学習活動を支援しています。進路選択（総合入試制度における移行学部・学科等の選択）や履修計画などに関して専任スタッフや教員に相談することができます。授業や教科書の内容、あるいは勉強の仕方について、専任スタッフと大学院生チューターが個別に質問に応じるほか、数学・物理学などの理系基礎科目についてオリジナルの学習教材を作成し、提供しています。また、レポートの書き方・プレゼンする方法などスタディスキルに関するセミナーや、留学生を囲み英会話のスキルを磨くセミナーを開催しています。

心身の健康に係る支援

【学生相談室】
学生相談室において、履修・勉強方法等修学上の問題、進学・就職等進路上的の問題、家庭や友人関係等、学生生活を送る上でのこのような問題や悩みごとについての相談に応じ、その解決のために適切な助言・援助を行っています。専門のカウンセラー（臨床心理士）が月曜から金曜までの毎日、相談に応じています。どんなささいなことでも相談に応じますので、気軽に利用してください。

【ピアサポート室】
学生生活を送るうえで、わからないことがある時「どこに聞いたら良いかを教えて欲しい」と思ったり、自分ひとりでは行き詰まってしまった時、「他の人はどうしているのだろう」と思ったりすることがある場合、そのような疑問を解消するため、学生同士で気軽に相談できる場所として、「ピアサポート室」があります。ピアサポート室では、皆さんと同じ学生のピアサポーターが、さまざまな悩みや問題に対し適切な相談窓口を紹介してい [続きを読む...](#)

留学生支援

大学ポータルサイト公表のWEBサイト③

北海道大学

文学部

教育学部

法学部

経済学部

理学部

医学部(医学科)

医学部(保健学科)

歯学部

薬学部(薬科学科)

薬学部(薬学科)

工学部

農学部

獣医学部

北海道大学 経済学部

項目選択

教員

教育研究上の目的
と3つの方針

学生

学部・研究科等
の特色等

キャンパス

教育課程

費用及び
経済的支援

教育研究上の目的と3つの方針

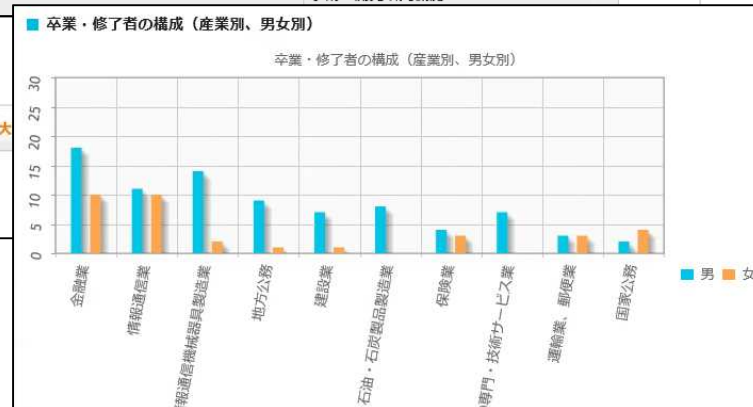
- 学部・研究科等ごとの目的

本学部は、経済社会の発展に寄与するために、経済学及び経営学に関する専門的知識を体系的に教授することにより、経済及び経営に関する幅広い視野、高い倫理観及び豊かな創造力を備えた人材を育成することを目的とします。
- 入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

【学部の理念】
北海道大学経済学部の基本的な学問体系は経済学と経営学とから構成される。経済学と経営学は、人間が生きていく上でもっとも適切な社会環境を探究する学問であり、社会のリーダーにとってもっとも大切な知的財産のひとつである。このような考えを具現化するために、北海道大学経済学部では以下の二つの学科を設置している。

 - ・経済学科：市場経済がどのような働きをし、どのようにわれわれの生活を豊かにするのか、また逆にどのような格差やひずみを生み出しているのかを理解し、それを補う経済政策を適切に判断できる素養を培うことを目指す
 - ・経営学科：現代社会における組織（企業、政府、地方自治体、非営利組織など）の経営現象を分析するために、組織管理の仕組みや組織構成員の対人的相互作用を解明するために必要な能力を習得することを目指す

項目選択		教育研究上の目的 と3つの方針	学部・研究科等 の特色等	教育課程	入試	
教員	学生	キャンパス	費用及び 経済的支援	進路		
産業分類				男	女	
製造業				はん用・生産用・業務用機械器具製造	4人	
				電子部品・デバイス・電子回路製造業		1人
				電気・情報通信機械器具製造業	14人	2人
				輸送用機械器具製造業		2人
				その他の製造業	2人	
電気・ガス・熱供給・水道業				2人	1人	
情報通信業				11人	10人	
運輸業・郵便業				3人	3人	
卸売・小売業		卸売業		5人		
		小売業		2人		
金融業・保険業		金融業		18人	10人	
		保険業		4人	3人	
不動産業・物品賃貸業		不動産取引・賃貸・管理業		3人	2人	
		物品賃貸業		2人		
		学術・開発研究機関				



大学ポートレート公表のWEBサイト④

大学情報の表示画面(私立)

大学ポートレート

トップページへ フリーワードで大学・短期大学を調べる このサイトの使い方

大学ポートレート

石川県(所在地都道府県) / 大学(学校種別)

K.I.T. 金沢工業大学

大学の特色 本学での学び 学生生活支援 通学・就職情報 様々な取組 学生情報 教員情報 基本情報

建学の精神

高遠な人間形成
我が国の文化を探索し、高い道徳心と広い国際感覚を有する創造的で個性豊かな技術者・研究者を育成します。

深遠な技術革新
我が国の技術革新に寄与するとともに、将来の科学技術振興に柔軟に対応する者を育成します。

雄大な産学協同
我が国の産業界が求めるテーマを積極的に追究し、広く開かれた学園として振ります。

詳細リンク(外部サイトへ) <http://www.kanazawa-it.ac.jp/>

特色

イノベーション創出を可能にする「世代・分野・文化を超えた共創教

金沢工業大学はイノベーション創出を可能にする「世代・分野・文化を超えた」を行っています。MITやスタンフォード大学など、世界を代表する100を超える大学、

学生の心身に関する支援?

●取り組みの内容

学生の心身をサポートする施設として、「扇が丘診療所」「スポーツター」の3つの専門部署を設けています。

扇が丘診療所は、専任の医員が在籍する内科診療所として、学生感染症防止などを行っています。スポーツターは、多彩なトレーニングし、学生の自由な健康増進や体力向上をサポートしています。カ、専任の臨床心理士を配置し、心理的に問題を抱えた学生の相談窓口上に「ネット相談受付」も設け、ネットを介しての学生への対応を行

中途退学防止?

●取り組みの内容

金沢工業大学では、「大学での学び」は、「高校までの学び」と大きく異なると共に、ひとり暮らしや対人関係など大きな環境の変化にもさらされ、様々な場面で悩みながら成長を遂げる時期と認識しています。

これらの悩みが相談しやすい環境作りとして本学では「修学相談室」と「カウンセリングセンター」を設置し、相談の窓口としています。その他、高校までの担任教員に相当する「修学アドバイザー」制度を運用しています。

また、この悩みは「成績の低下」や「授業への欠席」という形で表面化することもあり、その対応策として、授業年に出席率を集計し、ある値を超えた場合は、学生本人に注意喚起の連絡をし

課外活動

学生の自主活動?

●取り組みの内容

本学では、年間160日間の正課の授業に加え、授業外の140日間においても、学生が主体的に学習活動に取り組める環境を整え、学生の自主的な年間300日間の活動を応援しています。施設の環境整備に加え、学生が意欲的に活動するための約125の課外プログラムを展開しています。

①夢考房プロジェクト:モノづくりの一連のプロセスを体験すると共に、スケジュール管理、予算管理、組織運営を自主的に行う学生の創作グループ。ソーラーカーやNHKロボットコンテストに代表されるグループです。

②学友会活動:本学の学生全員が所属している学生団体で、工大祭実行委員会などの専門委員会と体育系、文化系の部活動、同好会、サークルなどが活動しています。

③学科、課程、研究室に関するプログラム:学科、課程、研究室が独自に実施する専門力の高いプログラム。

④産学、地域連携プログラム:企業をはじめとした産業界と連携したプログラムや、地方自治体と連携したプログラム。

⑤教育支援センターに関するプログラム:資格取得や教理科目の学習、海外留学を目指す学生の英会話の上達を支援するセンターなどが展開する課外プログラム。

クラブ活動状況

学友会は、金沢工業大学の学生全員が所属している学生団体です。工大祭実行委員会など8つの専門委員会や体育系、文化系あわせて37のクラブが活動しています。

①専門委員会(8委員会)
学友会役員会、工大祭実行委員会、交通安全対策専門委員会、広報委員会、アルバム編集委員会、学生健康委員会、学生地域活動推進委員会、学生支援推進委員会

②体育部会(26クラブ)
アイスホッケー部、アメリカンフットボール部、空手道部、弓道部、競技スキー部、山岳部、自動車部、柔道部、少林寺拳法部、女子バスケットボール部、水泳部、正伝長尾流剣術部、ソフトテニス部、剣道部、硬式庭球部、硬式野球部、ゴルフ部、サッカ部、卓球部、男子

大学ポータルサイト公表のWEBサイト⑤

K.I.T. 金沢工業大学 工学部

学部の特色
学部での学び
学生生活支援
進路・就職情報
様々な取組
学費・経済的支援
入試・学生情報
教員情報
基本情報






特色

▶ 人や社会に役立つものを創造する。世界水準の教育で「イノベーション力」を高める

金沢工業大学はMITやスタンフォード大学など、世界を代表する100を越える大学、高等教育機関が参加している技術者教育の世界標準、「CDIOイニシアチブ」に2011年、国内の大学で初めて加盟しました。CDIOは、Conceive(考えだす)、Design(設計する)、Implement(操作・運営する)の頭文字。専門知識を個人・対人スキルや、製品・同時に修得する質の高い技術者教育の実現を目指しています。

金沢工業大学は2012年度からプロジェクト・デザイン教育を中心にCDIOを導きながら充実を図っています。

プロジェクト・デザイン教育は、「自ら考え行動する技術者」を目指して、問題の過程・方法をチームで実践しながら学ぶ、金沢工業大学オリジナルの教員なものを必要としているのか、問題を発見し、知識やアイデアを組み合わせ、具体化して実験・検証・評価する中で、グローバル人材に期待される「実践的に身に付きます。

詳細リンク(外部サイトへ) <http://www.kanazawa-it.ac.jp>

●特色の目的

学びの質の向上

汎用的な力(学力・社会力・基礎力)の修得

▶ 学部の特長

- ・ 特色
- ・ 本学部の目的

▶ 卒業者

	計
2015年	620
2016年	780
2017年	880

▶ 進路別

	男	女	計	
進学者	大学院研究科	129	2	131
	大学学部	0	0	0
	短期大学本科	0	0	0
	専攻科	0	0	0
	別科	0	0	0
就職者	正規の職員、自営業主等	706	26	732
	正規の職員等でない者	0	0	0
臨床研修医(予定者を含む)	0	0	0	

▶ 産業別

	男	女	計	
農業、林業	0	0	0	
漁業	0	0	0	
鉱業、採石業、砂利採取業	0	0	0	
建設業	88	0	88	
製造業	食料品飲料・煙草・飼料	7	0	7
	繊維工業	2	0	2
	印刷・同関連業	1	0	1
	化学工業、石油石炭製品	6	0	6
	鉄鋼業、非鉄金属・金属	33	0	33
	汎用・生産・業務用機械	129	5	134

大学ポートレートの課題

- ◆ 公表画面へのアクセス数が多くない。（一ヶ月当たり平均約30万アクセス）
- ◆ 情報の内容が難しく、受験生や保護者に分かりやすい情報になっていない。
- ◆ 画一的なランキングにならないようにペーパービュー形式としているため一覧性に乏しく、大学間や経年の比較・検討が行いづらい。
- ◆ 取得可能な資格で検索できるなどの検索機能の充実が必要。

大学ポータルサイトに参加状況・公表画面へのアクセス状況

参加状況（平成30年1月3日現在）

種別	学校数	参加校数	割合
国立大学	86	86	100.0%
公立大学	89	76	85.4%
私立大学	602	586	97.3%
株式会社立大学	4	3	75.0%
公立短期大学	15	13	86.7%
私立短期大学	309	300	97.1%
合計	1105	1064	96.3%

公表画面へのアクセス数

年	月	ページビュー数
		合計
平成29年	4月	259,494
	5月	242,366
	6月	282,456
	7月	333,330
	8月	300,288
	9月	340,480
	10月	316,066
	11月	287,808
1月当り平均 (平成29年4月～11月)		295,286
(参考)1月当り平均 (平成28年4月～29年3月)		217,047

※国公立大学・短期大学、株式会社立大学の参加校数は平成29年度参加意向確認の回答による。

大学ポータルサイトの改善に向けた取組

- ◆ 平成29年3月に受験生や保護者の利用が多いモバイル端末に対応したウェブサイトを構築。
- ◆ 「入試」「費用及び経済支援」「キャンパス」関係の項目については、一覧にできる機能を追加。
(国公立は平成29年11月から運用開始、私立は平成30年度から運用開始予定)
- ◆ 日本の大学に留学を希望する外国人留学生に対して、各大学の教育に関する基本的な情報を英語で共通に提供する国際発信版を運用開始予定。
(国公立は平成30年8月から運用開始予定)

大学ポータルサイトの機能の拡充（一覧機能）

お気に入り一覧表示

お気に入りに戻る

各項目のリンクをクリックすると、詳細を見ることができます。

タブの切り替えによる
表示項目の切り替え

費用および経済支援

入 試

学生寮

区 分	学校名 学部・研究科（学科）名	費用および経済支援		
		授業料	授業料減免	奨学金
国 立 大 学	北見工業大学 工学部	年額535,800円	Q(1件)	Q(1件)
国 立 大 学	帯広畜産大学 畜産学部	535,800円	Q(1件)	Q(1件)
国 立 大 学	小樽商科大学 商学部（昼間コース）	535,800円	Q(2件)	Q(9件)
公 立 大 学	公立はこだて未来大学 システム情報科学部	年額 535,800円	Q(1件)	

大学ポータルサイトの国際発信

公表項目・方法を決定しシステム開発を開始

(国公立大学は平成30年度公表開始予定)

